

第 641 回：【3-4 年生向け】卒論執筆に際してやっておきたいこと 3 選 (MS)

みなさんこんにちは。水曜日担当の MS です。もうすぐ夏季休暇ですね。そこで、今回の LA 通信では卒論の執筆に取り組んでいる、または控えている 3-4 年生のみなさんに向けて、執筆の際に心掛けておきたいことを 3 つ取りあげます。

はじめに、文献リストを作成し、随時更新するよう心掛けておくことです。あなたの指導教員からも言われたことかもしれませんが、繰り返しておきます。これまでのレポート課題とは異なり、卒論は長期戦になります。ですので、どの文献を参照したのか、読んでおきたいのかといったことを忘れないようにメモしておくことをおすすめします。教員から提出を要求されることもあるかもしれません。

作成方法ですが、自分に合ったさまざまな媒体であるのいいと思います。たとえば、Excel で整理する人もいるかと思います。表計算ソフトですから、フィルタリング機能もあって、見やすいリストを作成できるかもしれません。もしくは、Word で整理するのもいいでしょう。体裁を整えて研究を整理しておけば、卒論の進捗を提出しないといけないときに便利です。ほかにも、Zotero や特定のソフトウェアを利用する方もいるかもしれません。念のため、ライセンスやデータの維持・管理には注意しておきたいですね。

次に、考えたことや、気になることをメモしておくことです。過去のことを完全に記憶できる方はごく一部の方々だと思われます。一週間前に食べたものを覚えていますか？私は覚えていません。これは卒論の執

筆にも言えることだと思います。

たとえば、気になる研究を見つけ、一度読んでみて、「おもしろい」という印象を受けたとします。その感想は覚えているかもしれませんが、具体的にどこが「おもしろい」と感じられたのかをメモしておかないと、いざ卒論で先行研究として取り上げようとしても再度読む必要が出てくるでしょう。それに、最初に研究を読んだその時だからこそ疑問に思ったことがあるかもしれません。このように、自分の考えていたこと、特に特定の時期に考えていたことを振り返るために、考えたことをメモすることをおすすめします。媒体は問いません。Word やメモ帳に書いてもいいし、PDF にコメントをつけたりしてもいいでしょう。自分が見返しやすい方法をおすすめします。

最後に、教員と連絡を取ることです。自分の経験からお話しします。私が卒論を執筆していたときのことです。4 年生の夏休み前、データは十分に集められていたのですが、卒論としてまとめていくための戦略で悩んでいました。そこで、面談をしたところ、何をすればいいのか考えがまとまった気がしました。

一人で悩むことももちろん重要です。結局、書くのは自分次第だからです。とはいえ、対話を通して何かを解決したり、または望ましい戦略を選択したりすることも重要だと思います。学生としての権利を有効活用しましょう。それでは。